

令和8年度 青梅市立第七小学校 学校評価シート

＜学校経営方針の重点＞

- 1 豊かな心の育成 2 確かな学力の育成
3 健やかな体の育成 4 家庭や地域との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
豊かな心の育成	「自他ともに尊重する」「仲良く助け合う子」を育成する。	人権教育・心の教育の推進による自己肯定感の向上	清掃や集会、学校行事などでの異年齢集団（たてわり班）による活動や交流活動の充実を通じて、思いやりや尊敬の念、自己肯定感の育成を図る。						
			自他ともに大切に思える取組とあらゆる偏見や差別、いじめをなくするための取組を推進する。また、心理的安全性が保たれた学校を作る。						
			奉仕活動、勤労生産活動や自然の中での体験活動の充実を図る。						
確かな学力の向上	「楽しく自ら」「進んで学習する子」を育成する。	学習意欲の向上（主体的な学び）と学びの個別最適化・協働化	問題解決的な学習を重視し、見通し・振り返りのある授業を通じて学習意欲の喚起を図る。						
			言語活動や読書活動の充実を基盤に、対話のある授業を実践し、考える力・表す力の育成を図る。						
			タブレット端末の効果的な活用（教具から文具へ）を推進し、学びの個別最適化・協働化を図る。また、情報活用能力と情報リテラシーの向上を図る。						
健やかな体の育成	「安心安全な環境の中で」「丈夫な体をもつ子」を育成する。	健康・体力づくりと命を守る教育の推進と特別支援教育等を含めた多様性のある教育環境の推進	体力アップカード、サーキットトレーニング、マラソン・なわとび月間等による日常的な取組により、体力維持と向上を図る。						
			地域の実態を考慮した日常的な安全指導・安全管理の徹底と、実践的な避難訓練により、自分の命は自分で守る意識の向上を図る。						
			特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを活用した校内委員会や教育相談体制の充実と、特別支援教育の推進により、多様性の理解を図る。						
家庭や地域との連携	地域に根ざした「地域とともにある学校」づくりを推進する。	地域・保護者との連携と地域の環境や人材を活用した教育活動の推進	地域人材や環境を活用した体験活動（ヤマメ、ウサギ、蚕の飼育体験や野菜、稲作等の栽培体験）の充実を図る。						
			各種たより、公開等、様々な機会を活用し、学校情報の発信に努める。また、コミュニティ・スクール委員会を中心とした地域との連携を深める。						
			他校（第六中学校や成木小学校、おそき保育園等）との交流や合同学習の充実を図る。						

*評価 A：達成した B：ほぼ達成した C：もう少し D：達成できなかった